

# JR東海労ニュース

No.1405  
2010年3月1日  
JR東海労働組合

## 2010JR春闘シリーズ ③

### ベアゼロは許さない！社員の努力に応えろ！ 専任社員の賃金・労働条件の改善を勝ち取ろう！

本部は、2月26日「2010年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の申し入れ」に基づき第2回団体交渉を行いました。会社から申し入れに対する回答があり、要求の実現に向けて議論をしてきました。

本部は、「社員の懸命な努力によって毎年黒字を計上している。この数年はベアゼロの状態が続き配分の歪みがある。内部留保総額1兆6,375億円、社員1人当たり6,074万円を社員に還元すること」を要求しました。しかし会社は、「内部留保は再投資のためであり、経営環境は厳しく先行きも不透明である。世間動向・状況を見てベアはゼロである」との見解を示しました。

また専任社員の基本給引き上げ、労働条件の改善を強く要求しました。本部は、「賃金実態は公的給付を受けても賃金を積み上げる余裕がある」ことを具体的に示し要求してきました。しかし会社は「年金や公的給付を受けられる合理的な額を設定している」と回答していますが個別の実態調査さえしていないのです。さらに60才以降の労働条件について改善するよう要求しましたが「専任社員だけを特別にした勤務をつくる考えはない」「そのような制度とはなっていない」に終始しました。

#### 主な会社回答の概要

1. 基本給3,700円引き上げ＝議論の上で決定する
2. 基準昇給額を一律1,200円＝そのような考えはない
3. 夏季手当3.2ヶ月＝支給月付は議論して決定する
4. 専任社員労働条件の改善
  - (1) 専任社員希望者は全員採用すること＝そのような考えはない
  - (2) 専任社員としての採用基準の撤廃＝そのような考えはない
  - (3) 専任社員の基本給を一律200,000円＝合理的な額を設定している
5. 特殊勤務手当の改善＝変更の考えはない
6. 休日出勤をに解消すること＝早期解消のスタンスは変わらない

反弾圧・国政春闘を全力で闘おう！